

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2002-503724(P2002-503724A)

【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)

【出願番号】特願2000-532400(P2000-532400)

【国際特許分類】

C 07 D 213/82	(2006.01)
A 61 K 31/497	(2006.01)
A 61 P 13/08	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 213/82	
A 61 K 31/497	
A 61 P 13/08	
A 61 P 43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月31日(2006.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

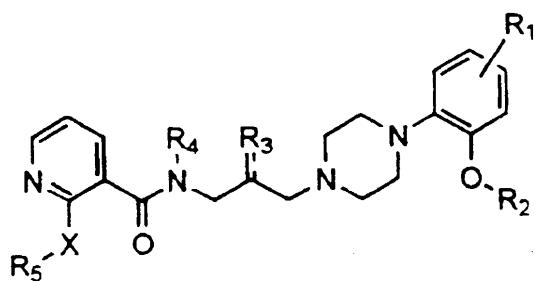
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式I

【化1】



{式中、

R₁は、水素、ハロゲン、C₁₋₅アルコキシ、ヒドロキシリまたはC₁₋₅アルキルであり、R₂は、C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル[このアルキルの置換基は独立して1種以上のハロゲン類から選択される]、フェニル、置換フェニル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋₅アルキルから成る群の1員以上から選択される]、フェニルC₁₋₅アルキル、または置換フェニルC₁₋₅アルキル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、ハロゲン、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋₅アルキルから成る群の1員以上から選択される]であり、

R₃は、破線が存在しない場合には水素、ヒドロキシリまたはC₁₋₅アルコキシであるか、或は破線が存在する場合には酸素であり、

R₄は、水素、C₁₋₅アルキル、フェニルC₁₋₅アルキルまたは置換フェニルC₁₋₅アルキル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₅アルキル、C₁₋₅アルコキシおよびトリハロC₁₋

₅アルキルから成る群の1員以上から選択される]であり、

R₅は、C₁₋₆アルキル、置換C₁₋₆アルキル[このアルキルの置換基は独立して1種以上のハロゲン類から選択される]、フェニル、置換フェニル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、C₁₋₈アルキル、置換C₁₋₈アルキル(このアルキルの置換基は、独立して、1種以上のハロゲン類から選択される)、C₁₋₅アルコキシ、アミノ、C₁₋₅アルキルアミノ、ジC₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルカルボニル、C₁₋₅アルコキシカルボニル、アリールカルボニル、ニトリル、アミノスルホニル、C₁₋₅アルキルスルホニル、フェニルスルホニルおよび置換フェニルスルホニル(このフェニルの置換基は独立してC₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシおよびニトロから成る群の1員以上から選択される)から成る群の1員以上から選択される]、フェニルC₁₋₅アルキル、置換フェニルC₁₋₅アルキル[このフェニルの置換基は独立してC₁₋₈アルキル、水素、ハロゲン、ヒドロキシ、C₁₋₈アルキル、置換C₁₋₈アルキル(このアルキルの置換基は、独立して、1種以上のハロゲン類から選択される)、C₁₋₅アルコキシ、アミノ、C₁₋₅アルキルアミノ、ジC₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルカルボニル、C₁₋₅アルコキシカルボニルおよびニトロから成る群の1員以上から選択される]であり、

Xは、酸素、硫黄またはNHである]

で表される化合物、またはその薬学的に容認される塩、もしくは立体異性体、もしくはラセミ混合物、もしくはエナンチオマー。

【請求項2】 R₃が酸素である請求項1記載の化合物。

【請求項3】 R₃が水素またはヒドロキシである請求項1記載の化合物。

【請求項4】 R₁が水素、ハロゲンまたはヒドロキシであり、R₂がフェニル、水素またはC₁₋₆アルキルであり、R₄がC₁₋₅アルキルまたは水素でありそしてR₅がC₁₋₅アルキル、フェニルまたは置換フェニルでありそしてXが硫黄または酸素である請求項3記載の化合物。

【請求項5】 R₁が水素であり、R₂がC₁₋₅アルキルであり、R₃が水素であり、R₄が水素であり、R₅が置換フェニルでありそしてXが酸素である請求項4記載の化合物。

【請求項6】 R₁が水素であり、R₂が*i*-プロピルであり、R₃がヒドロキシまたは水素であり、R₄が水素であり、R₅がフェニルまたは置換フェニルであり、ここで、このフェニルの置換基が独立してC₁₋₅アルコキシ、ハロゲン、ジC₁₋₅アルキルアミノ、C₁₋₅アルキルおよびハロゲン置換C₁₋₅アルキルから成る群の1員以上から選択され、そしてXが酸素である請求項1記載の化合物。

【請求項7】 R₁が水素であり、R₂が*i*-プロピルであり、R₃がヒドロキシであり、R₄が水素であり、R₅がフェニルであり、Xが酸素でありそしてキラリティーを持つ酸素の立体化学がSである請求項1記載の化合物。

【請求項8】 薬学組成物であって、請求項1に記載の化合物を有効投薬量で含有する薬学組成物。

【請求項9】 請求項1に記載の化合物の有効投薬量が約0.1から約25.0mg/kgである請求項8記載の薬学組成物。

【請求項10】 請求項1に記載の化合物の有効投薬量が約0.01から約1.0mg/kgである請求項8記載の薬学組成物。